

鹿屋市立花岡中学校 第2学年

【授業実践のポイント】

- ① 多面的・多角的に考える道徳にするため、タブレット端末を活用し、互いの理解を深める活動を行った。
 ② 自分の考えの変容を客観的に捉えるため、ワークシートで文章による振り返りを行った。

1 主題名 「人と分かり合うには」 B—(9) 相互理解, 寛容

(1) 教材名 「コトコの涙」 (「中学道徳2 あすを生きる」 日本文化出版)

(2) 本時のねらい

それぞれの立場や相手の個性を理解し、互いを認め合い、他者とよりよいコミュニケーションをとって接しようとする態度を育てる。

2 授業の展開

過程(分)	形態	学習活動	○主な発問	□指導上の留意点
価値への方向付け (5分)	個 ↓ 全体 全体	1 設定された場面でどのように行動するか意見交換をする。 2 本時のめあてを確認する。	○ 荷物を持っているおばあさんが横断歩道をトボトボと渡っていました。今にも信号が変わりそうです。あなたならどうしますか。 ・ 声をかける。 ・ そっとしておく。	□ 本時で扱う「相互理解, 寛容」を意識することができるようにするために日常生活でありそうな場面を考えさせる。
お互いが分かり合うためには、どんなことを大事にすればよいのだろうか。				
価値の追求・吟味 (30分)	全体 ↓ 個 全体 ↓ 個 ↓ グループ 個 ↓ 全体	3 教材「コトコの涙」の範読を途中まで聞き、最初のコトコの気持ちを考える。 4 資料の残りの範読を聞き、コトコの気持ちの変化について考える。 5 これからのコトコの行動を考える。	○ コトコが泣き出しそうになったのはなぜだろうか。 ○ コトコが「泣き出しそうになった」ときと「涙が止まらなかった」ときでは何が違うのだろうか。 ○ このあと、コトコは笹岡さんとどのように接すると思いますか。	□ たくさんの考えを出させる。また、コトコは悪いことをしたのだろうかという事についても考えさせる。 ※ 根拠をもって、自分の考えを相手に伝えることができたか。 □ 自分だったらどうするか考えさせる。
価値の自覚 (10分)	個 ↓ 全体 全体	6 お互いを分かり合うために大切なことを考える。 7 まとめる。 分り合うためには、お互いの立場や考えを尊重することが大切である。	○ お互いが分かり合うためにあなたはどのように行動していきますか。	※ 授業を通しての自分の考えを書くことができたか。 □ 生徒の言葉を使ってまとめを行う。
振り返り (5分)	個	8 今日の学習を振り返る。	○ 今日の学習をとおして、考えたことや感じたことを振り返ろう。	□ 振り返りシートを使用し、授業の振り返りを行わせる。 ※ これまでの生活と関連づけて今後の生活について振り返ることができたか。

【板書】



「自分」と「自分と相手」の位置関係や色を変えて貼り付けた。

登場人物であるコトコ的心情変化について、考え方が広がっていることが分かるように色や位置関係を変化させて掲示物を作成した。

【ICT機器の有効的な活用】



〈電子黒板にイラスト表示〉



〈タブレットを活用して話し合い〉



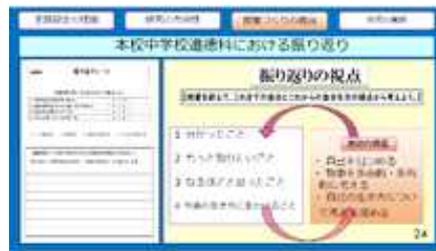
〈タブレットを用いて全体で発表〉

授業の中ではロイロノートを活用し、自分の意見をタブレット上でまとめさせた。こうすることで、後に電子黒板で生徒全員の考えを確認することができた。

【参考資料】



〈本校の道徳の方針〉



振り返りの活動など、本校の授業づくりのスタイルや、道徳の学習過程をもとにして指導案を作成した。



〈ワークシート〉

3 実践を終えて

(1) 成果

タブレット端末の活用により、それぞれの生徒の考えを分かりやすく見ることができ、意見交換を行えた。授業を通して互いに認め合うことの大切さに気付いており、相手のことを理解しようとする様子が見られた。

(2) 課題

教材の心情の読み取りに時間がかかり、時間配分が上手くいかず、振り返りの時間を十分に確保できなかった。今後は発問を精選し、よりスムーズに価値の追求ができるようにしていきたい。